

1. 2. 2 ミズダコ

担当者 調査研究部 城 幹昌

(1) 目的

オホーツク総合振興局管内（以下、網走管内：ウトロ～雄武）において、ミズダコは沿岸漁業者にとって重要な漁業対象種である。しかし、オホーツク海におけるタコ類の調査研究は、ほとんど取り組まれていないのが現状である。このため、ミズダコについて移動や成長といった生態的知見を蓄積するとともに、漁獲量のモニタリングを行うこととした。また、ヤナギダコについても、漁獲量のモニタリングを行った。

(2) 経過の概要

ア 漁獲統計調査

ミズダコ・ヤナギダコ共に、年別・地区別の漁獲量は北海道水産現勢を用いて集計した（2010 年は暫定値）。網走のヤナギダコ漁獲量はミズダコ漁獲量の沖合底びき網分を集計した。また、水産現勢では、紋別のヤナギダコの漁獲量がミズダコの漁獲量に含まれて集計されている。2006 年まではマリンネットを用いてこれらの分離が可能であったが、2007 年からはマリンネットの縮小に伴い不可能になった。なお、紋別における 2003～2006 年の沖合底びき網によって漁獲されたタコ類の漁獲量のうち、ヤナギダコの占める割合は 2.5～5.9%であった。

イ 標識放流調査

1988 年から網走管内たこ漁業連絡協議会が中心となって、3 kg 未満の小型ミズダコの標識放流を行っている。2010 年に得られた放流・再捕情報を整理するとともに、成長・移動などの情報の収集を行った。なお、この小型ミズダコは通常の漁業によって採捕されたものである。

(3) 得られた結果

ア 漁獲量の推移

網走管内のミズダコ漁獲量は、1985 年以降で見ると、漁獲量が数百トンレベルで推移する期間と連続して 1,000 トンを上回る漁獲量を記録する期間がみられる。1985～1991 年までは約 500～900

トンの中で推移していたが（表 1、図 1）、1992 年から 1999 年にかけては連続して 1,000 トン以上の漁獲がみられた。その後、2000 年～2005 年では、2003 年に過去最高の 1,623 トンを記録したものの、それ以外の年では漁獲量は約 700 トン～900 トンの間で推移した。2006 年以降は、再度 1000 トンを上回る漁獲が 5 年連続でみられ 2010 年の漁獲量は 1,189 トンであった。1985 年以降、網走管内のミズダコ漁獲量は、全道のミズダコ漁獲量の変動とほぼ一致した増減を繰り返しているが（図 1）、2005～2009 年の間では全道の漁獲量が横ばいであるのに対し、網走管内の漁獲量は連続して増加してきた。2010 年は全道の漁獲量および網走管内の漁獲量ともに減少した。

2010 年では網走管内のすべての地区で漁獲量は前年を下回った（表 1）。湧別・常呂・網走では、前年比 11～16%程度の減少であったが、雄武・沙留・ウトロでは減少幅が大きく、前年の 32～38%漁獲量は減少していた。

表 1 網走管内の地区別ミズダコ漁獲量

年	(トン)									合計
	雄武	沙留	紋別	湧別	佐呂間	常呂	網走	斜里	ウトロ	
1985	92	35	81	13	1	60	168	109	112	670
1986	190	49	102	23	0	139	183	67	69	822
1987	169	33	108	25	1	94	141	78	112	759
1988	81	20	57	15	0	71	122	60	72	498
1989	236	40	199	26	0	158	170	54	40	923
1990	139	20	55	24	0	81	60	113	94	587
1991	195	52	79	22	0	40	76	63	33	559
1992	322	67	130	28	0	162	262	92	104	1,167
1993	341	88	148	18	0	250	355	147	118	1,466
1994	344	83	173	36	0	210	319	114	110	1,389
1995	290	69	125	22	0	136	259	102	99	1,102
1996	373	119	221	49	3	229	377	79	86	1,534
1997	354	117	210	82	4	229	400	105	102	1,603
1998	335	111	190	72	1	216	347	188	107	1,567
1999	353	112	168	57	1	153	260	117	61	1,283
2000	247	90	127	49	2	121	209	85	59	988
2001	220	57	124	44	2	113	193	77	52	881
2002	285	93	127	42	5	92	154	93	90	981
2003	436	108	200	76	2	234	352	156	58	1,623
2004	231	57	129	37	1	73	188	106	114	938
2005	244	64	115	30	0	80	153	55	34	776
2006	302	63	132	29	0	106	295	144	53	1,125
2007	336	86	172*	44		117	249	123	76	1,203
2008	293	83	158*	55		149	370	186	71	1,366
2009	420	118	189*	69		159	313	210	103	1,580
2010	287	73	136*	61		133	280	153	66	1,189

資料：北海道水産現勢(2010 年は暫定値)

*: ヤナギダコの漁獲量が含まれている。

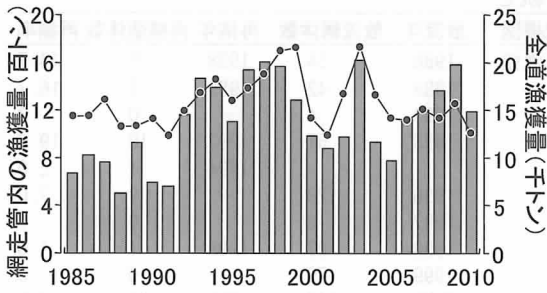


図 1 網走管内(棒グラフ)と全道(折れ線)のミズダコ漁獲量の推移

表 2 網走管内の地区別ヤナギダコ漁獲量 (トン)

年	雄武	沙留	紋別	湧別	常呂	網走	斜里	合計
1985	3	1	0				0	4
1986	51	20	28				2	100
1987	31	13	13		0	1		58
1988	15	2	16		0	4		37
1989	7	3	28		1	52		91
1990	10	5	86		4	250		354
1991	4	4	34		6	139		187
1992	3	4	23		0	167		197
1993	3	3	18	2	2	188		215
1994	1	1	15		2	156		175
1995	0	0	16	0	1	163		181
1996	0	0	0	0	2	92		95
1997	1	1	0		3	142		147
1998	1	0	0		2	109		112
1999	1	0			3	45		49
2000	0	0	5		1	40		47
2001	3	1			2	23	0	29
2002	13	6			7	53		79
2003	1	1	13		2	46	10	73
2004	3	2	6		2	69	1	82
2005	2	0	6		2	77	2	89
2006	1	0	1		3	39	1	45
2007	2	0	ND*1		1	68	0	72*2
2008	2	0	ND*1		6	76	0	84*2
2009	4	3	ND*1		8	47	0	62*2
2010	1	0	ND*1		5	35	0	42*2

資料: 北海道水産現勢(2010 年は暫定値)

*1: データ無し(ミズダコ漁獲量に含まれているため集計不可)

*2: 紋別のヤナギダコ漁獲量が含まれていない

網走管内においては、北海道水産現勢上「たこ漁業」に含まれる漁業のうち「たこ函」による漁獲が最も多く、次いで「たこいさりびき」による漁獲が多い。この2つの漁業で、たこ漁業によるミズダコ漁獲量の 8~9 割を漁獲している(平成 17, 18 年度事業報告書)。

網走管内におけるヤナギダコの漁獲量はミズダコに比べて少なく、佐呂間およびウトロではほとんど漁獲がない。1990 年には 354 トンと過去最高の漁獲量を記録し、その後 1998 年まで 1996 年を除き 100 トンを上回る漁獲が続いた(表 2)。その後、1999 年~2001 年および 2006 年は 29~49 トンと漁獲量は低いレベルであったが、それ以外の年

では 73~89 トンの間で推移している。2010 年の漁獲量は 62 トンであったが、これには紋別の沖合底びき網による漁獲量が含まれていない。

ヤナギダコは、網走管内では網走の沖合底びき網で多く漁獲され(35 トン, 84%), 次いでほたてけた網(4 トン, 10%)による漁獲が多かった。

イ 標識放流調査

網走管内におけるミズダコの標識放流は、漁獲されても放流することとされている体重 3 kg 未満の個体の一部に、漁業者自らがプラスチック製のディスク型(黄色)の標識を付けて放流しているものである。

2010 年では、雄武、沙留、紋別、湧別、常呂、網走の 6 地区においてミズダコの標識放流が行われ、合計 465 個体のミズダコが放流された(表 3)。

2010 年に再捕されたミズダコの放流・再捕時の状況を表 4 に示す。2010 年には 47 個体の標識ミズダコが再捕され、2009 年に放流されたミズダコが 4 個体、2010 年に放流されたミズダコが 43 個体再捕された。放流された地区や両隣の地区で再捕された例が多かった。

表 3 これまでの標識放流・再捕の実績

放流機関	放流年	放流個体数	再捕年	再捕個体数	再捕率	
雄武漁協	1994	63	1994	3	4.8	
			1995	4	3.7	
			1996	7	6.9	
	1997	109	1997	3	3.0	
			1998	1	1.0	
			1998	11	12.5	
			1999	1	1.1	
	1999	100	-	0	0	
			2003	-	4	16.7
			2004	-	0	0
	2004	33	-	0	0	
			2007	-	0	0
	2007	71	-	0	0	
2008			-	0	0	
2008	10	-	0	0		
		2009	-	0	0	
2009	10	-	0	0		
		2010	-	0	0	
2010	18	2010	3	16.7		
		-	-	-	-	
沙留漁協	1996	46	1996	8	17.4	
			1997	1	2.2	
	2004	10	2004	1	10.0	
			2007	1	3.2	
	2007	51	2007	3	5.8	
			2008	1	2.0	
	2008	59	2008	4	6.8	
			2009	4	6.3	
2009	64	2009	4	6.3		
		2010	-	0	0	
紋別漁協	1988	51	1988	3	5.9	
			1989	1	2.0	
	1989	13	1989	2	15.4	
			1990	-	0	0
	1990	24	-	0	0	
			1991	1	4.5	
	1991	22	1991	1	4.5	
1992			2	9.1		

表 3 続き

放流機関	放流年	放流個体数	再捕年	再捕個体数	再捕率
紋別漁協	1993	57	1993	9	15.8
	1996	48	1996	6	12.5
	2002	38	2002	3	7.9
			2003	1	2.6
	2003	32	2003	1	3.1
	2004	12	-	0	0
	2005	28	2006	2	7.1
	2006	16	-	0	0
	2007	9	-	0	0
	2008	6	-	0	0
	2009	8	2009	1	12.5
2010	16	-	0	0	
湧別漁協	2004	32	2004	2	6.3
	2005	25	2005	2	8.0
	2007	16	2007	1	6.3
	2008	121	2008	3	2.5
	2009	57	2009	13	22.8
	2010	166	2010	24	14.5
常呂漁協	1989	85	1989	4	4.7
	1993	101	1993	19	18.8
	2001	100	2001	7	7.0
	2002	99	2002	3	3.0
	2003	120	2003	15	12.5
	2004	76	2004	4	5.3
	2005	109	2005	11	10.1
	2006	191	2006	29	15.2
	2007	293	2007	4	1.4
	2008	140	2008	19	13.6
	2009	200	2009	39	19.5
	2010	176	2010	15	8.5

表 3 続き

放流機関	放流年	放流個体数	再捕年	再捕個体数	再捕率
網走漁協	1988	34	1988	5	14.7
	1989	42	1989	7	16.7
	1990	4	-	0	0
	1993	51	1993	10	19.6
			1994	1	2.0
	1996	128	-	9	7.0
	1997	6	-	0	0
	1998	97	1999	1	1.0
	1999	79	-	0	0
	2003	142	2003	10	7.0
			2004	2	1.4
	2004	104	2004	2	1.9
			2005	2	1.9
	2005	95	-	0	0
	2006	121	2006	3	2.5
	2007	140	2007	1	0.7
2008	108	2008	0	0	
2009	139	2009	3	2.2	
		2010	4	2.9	
2010	63	2010	1	1.6	
斜里第一漁協	1991	8	1991	2	25.0
	1993	4	1994	1	25.0
	1996	19	1996	1	5.3
			1997	1	5.3
	1998	8	-	0	0
2002	42	2002	2	4.8	
2005	10	-	0	0	
2007	15	-	0	0	
ウトロ漁協	1990	22	-	0	0
	1996	70	-	0	0
	1998	20	-	0	0.0

表 4 2010 年のミズダコ標識放流・再捕の状況

番号	再捕年月日	再捕漁協	体重 (kg)	水深 (m)	放流年月日	放流漁協	体重 (kg)	水深 (m)	経過日数	増体重 (kg)
1	2010. 4. 22	雄武	3.2	107	2010. 3. 8	雄武	3.2	96	45	0
2	2010. 5. 8	雄武	3	68	2010. 3. 8	雄武	3.0	92	61	0
3	2010. 6. 23	雄武	7	103	2010. 3. 8	雄武	4.5	102	107	2.5
4	2010. 11. 27	沙留	11	35	2010. 3. 20	湧別	2.1	10	252	8.9
5	2010. 7. 20	紋別	3	125	2010. 3. 29	湧別	2.2	51	113	0.8
6	2010. 8. 9	紋別	6.8	55	2010. 3. 20	湧別	2.3	10	142	4.5
7	2010. 7. 14	湧別	5.5	18	2010. 3. 20	湧別	2.1	10	116	3.4
8	2010. 7. 23	湧別	4.4	32	2010. 3. 20	湧別	2.0	10	125	2.4
9	2010. 7. 24	湧別	5.6	24	2010. 3. 20	湧別	2.2	10	126	3.4
10	2010. 7. 30	湧別	6.2	38	2010. 3. 23	湧別	2.0	34	129	4.2
11	2010. 7. 30	湧別	3.8	38	2010. 4. 1	湧別	1.2	34	120	2.6
12	2010. 8. 5	湧別	5.5	67	2010. 4. 1	湧別	2.0	33	126	3.5
13	2010. 8. 5	湧別	5.0	59	2010. 4. 10	湧別	2.1	33	117	2.9
14	2010. 8. 11	湧別	5.1	65	2010. 3. 20	湧別	1.9	10	144	3.2
15	2010. 8. 11	湧別	5.8	68	2010. 4. 16	湧別	2.0	30	117	3.8
16	2010. 8. 13	湧別	4.5	65	2010. 3. 31	湧別	1.9	32	166	2.6
17	2010. 7. 14	常呂	5.5	35	2010. 3. 25	常呂	2.2	12	111	3.3
18	2010. 7. 26	常呂	6.4	40	2010. 3. 25	常呂	2.9	87	123	3.5
19	2010. 7. 28	常呂	5.7	83	2010. 3. 25	常呂	2.4	55	125	3.3
20	2010. 7. 28	常呂	6.2	38	2010. 3. 25	常呂	2.7	12	125	3.5
21	2010. 8. 9	常呂	6.1	86	2010. 3. 25	常呂	4.4	55	137	1.7
22	2010. 8. 9	常呂	5.7	86	2010. 3. 25	常呂	2.3	12	137	3.4
23	2010. 8. 9	常呂	5.2	85	2010. 3. 25	常呂	1.9	87	137	3.3
24	2010. 8. 20	常呂	4.5	78	2010. 3. 25	常呂	1.5	55	148	3.0
25	2010. 8. 20	常呂	7.2	97	2010. 3. 25	常呂	2.4	55	148	4.8

ND: データなし

湧別および常呂地区において再捕されたミズダコについては、経過日数が多かった上位 10 個体のみ記載している。

表 4 つづき

番号	再捕年月日	再捕漁協	体重 (kg)	水深 (m)	放流年月日	放流漁協	体重 (kg)	水深 (m)	経過日数	増体重 (kg)
26	2010.10. 8	常呂	8.0	85	2010. 3.25	常呂	1.9	87	197	6.1
27	2010. 3.19	網走	2.3	35	2009.12.26	網走	2.3	25	83	0
28	2010. 3.19	網走	2.4	35	2009.12.26	網走	2.4	25	83	0
29	2010. 3.19	網走	3.2	35	2009.12.26	網走	3.2	25	83	0
30	2010. 4. 6	網走	3.5	ND	2010. 1.18	網走	1.5	42	78	2
31	2010.11. 5	網走	12	ND	2009.11.27	網走	2.6	4	343	9.4

ND: データなし

湧別および常呂地区において再捕されたミズダコについては、経過日数が多かった上位 10 個体のみ記載している。